

平成 22 年北秋田市議会 9 月定例会行政報告

北秋田市議会 9 月定例会が開催されるにあたり、6 月 25 日以降の主な事項及び今後予定している事項について報告いたします。

市長部局

総務部

<総務課関係>

旧県立営農大学校で学んだ中国人留学生の同窓会が中国大連市で開催されることとなり、招待を受け 7 月 7 日～9 日の日程で中国を訪問しました。同窓会は、留学生やその家族を含め約 60 人が出席し、再会を喜び合いました。

また、中国訪問に合わせて遼寧省普蘭店市と大連市の人民政府を表敬訪問し、普蘭店市とは交流の可能性について意見交換を行いました。7 月 26 日には、来日している普蘭店市長一行が北秋田市役所を表敬訪問され、先日のお礼を申し上げるとともに交流を深めています。

防災関係については、7 月 29 日から 30 日にかけての豪雨で、7 月 30 日から 8 月 3 日まで「北秋田市災害警戒部」が設置されています。主な被害は、住家の床下浸水が 4 件、道路の損壊・冠水が 16 箇所、河川の損壊が 7 箇所、農地の冠水が 77 h a となっております。

<総合政策課関係>

4 月の市民病院開院にあわせ、路線バスでの実証運行を行っております米内沢・市民病院アクセス線の利用者数の推移は、4 月が 471 人、5 月が 572 人、6 月が 720 人、7 月が 640 人となっております。6 月まで増加傾向にあった利用者数が、7 月に減じたのは祝日や曜日の関係が考えられますが、詳細については今後の利用者数とあわせ検証することにしております。

行財政改革の取り組みのひとつとして市民意識調査を行いました。20 歳以上の市民から 1,000 人を無作為抽出して調査票を送付したところ、446 人から回答がありました。結果については先に議員の皆様へ配布いたしましたが、内容を分析し今後の政策に反映させてまいります。

毎年実施している移動行政懇話会は、8 月 30 日～9 月 2 日の日程で開催し、市民意識調査の結果として、満足度の高い分野、不満との回答が多かった分野について報告しております。

ふるさと会については、合川地区出身者による「首都圏合川会」総会が9月4日に開催され、約50名が参加しました。

10月1日を基準日に5年に1度行われる全世帯を対象とした国勢調査は、新市になってからは平成17年に続いて2回目となりますが、総務大臣の任命を受けた指導員31名と調査員223名が、市内約14,500世帯を調査します。市では7月20日に佐藤副市長を本部長とする「北秋田市国勢調査実施本部」を設置し、全庁挙げての体勢で調査にあたる組織作りをしたところです。

<内陸線再生支援室関係>

公共交通総合連携計画に基づく秋田内陸地域公共交通連携協議会が開催され、紅葉期の列車増発、桂瀬駅の旅客通路新設、内陸線阿仁マタギ駅を含めた「田沢湖・角館エリアフリーパス」の造成、乗車促進キャンペーンなど内陸線の利便性向上、利活用促進事業を実施することになりました。7月には内陸線活性化フォーラムとして県出身著名人をアドバイザーにリレートークを実施、また9月には沿線愛好者を対象とした第4回グラウンド・ゴルフ大会を開催するなどして乗車運動を展開しています。

財 務 部

<財政課関係>

平成22年5月26日から8月25日までの工事等発注状況（500万円以上）は、別紙のとおりとなっております。

工事等発注一覧表
 ※ 500 万円以上(消費税含む)

平成22年5月26日～平成22年8月25日

工事名(業務名)	契約年月日	契約額 (千円)	請負業者名
登記地図データ作成業務委託	H22.6.25	30,765	国土情報開発
北秋田市情報通信基盤整備工事	H22.5.31	554,400	(株)NTT 東日本-秋田
北秋田市情報通信基盤整備Ⅱ工事	H22.6.2	52,500	(株)NTT 東日本-秋田
平成22年度 標準宅地鑑定評価及び時点修正率算定業務委託	H22.8.5	6,195	ジェイビープライアン(株)
財務部 4件		643,860	
クリーンリサイクルセンター屋根葺替工事	H22.6.10	5,748	齊藤住建
クリーンリサイクルセンター設備総合点検業務	H22.6.29	17,850	ユニチカ(株)東京本社
クリーンリサイクルセンター1号炉燃焼段ストーカ交換工事	H22.8.12	8,190	ユニチカ(株)東京本社
資源ごみ等引取及び処理業務委託	H22.8.17	7,887	(株)青南商事
市民生活部 4件		39,675	
もろび苑 スプリンクラー設置工事	H22.7.12	14,227	(有)ヤマグチ
エコーハイツ・合川高齢者生活支援施設 スプリンクラー設置工事	H22.7.12	27,174	(有)工藤設備工業所
森泉荘 スプリンクラー設置工事	H22.7.12	16,485	大館桂工業(株)北秋田営業所
健康福祉部 3件		57,886	
排水維持工事(市道 李岱芹沢線)	H22.6.10	13,650	(有)喜組
排水維持工事(市道 舟場～川口線)	H22.6.28	6,783	(有)やまこう
用地測量業務委託(市道 大野台幹線)	H22.7.29	28,665	柴田工事調査(株)北秋田営業所
道路改良工事(市道 摩当～向黒沢線)1工区	H22.8.10	51,450	秋田機械建設(株)

道路改良工事(市道 摩当～向黒沢線)2工区	H22.8.12	66,360	(有)丸栄建設
舗装維持工事(市道 岩谷線)	H22.8.5	7,350	佐藤建設(株)北秋田営業所
舗装維持工事(市道 材木町～横町線)	H22.8.5	6,058	(有)丸栄建設
舗装維持工事(市道 胡桃館国道線)	H22.8.23	11,130	佐藤建設(株)北秋田営業所
太田四号幹線補修工事(鷹巣処理区)	H22.6.25	17,850	(協)タイセイ
東裏簡平団地解体工事	H22.6.28	7,665	片岡建設
村づくり交付金 第04503号工事(路面復旧工)	H22.8.5	9,187	(株)佐藤庫組
市営住宅なかたい住宅 屋上改修工事	H22.8.25	7,350	(有)森川防水工業
建設部 12件		233,498	
秋田県緊急雇用創出臨時対策基金事業 産業データベース作成・運用事業業務委託	H22.6.11	12,876	東光コンピュータ・サービス(株)北秋田営業所
北秋田市農地地図情報システムデータベース作成委託業務	H22.7.22	17,797	東光コンピュータ・サービス(株)北秋田営業所
北秋田市企業誘致活動支援事業	H22.7.1	10,059	(社)北秋田地域シルバー人材センター
村作り交付金(合川地区)第 01501 号工事	H22.7.9	11,130	(株)佐藤庫組
平成22年度 村づくり交付金(合川地区)測量・調査設計業務委託	H22.6.11	6,289	秋田県土地改良事業団体連合会
林道大滝沢線橋梁改良工事	H22.8.23	10,500	池田建設(株)
林道小摩当線橋梁改良工事	H22.8.24	8,400	(有)千葉建設
産業部 7件		77,051	
米内沢小学校校舎改築工事实施設計業務委託	H22.6.25	13,650	(有)奈良田建築設計事務所
米内沢小学校図書棟解体工事	H22.6.30	6,869	織山建築
阿仁合小学校耐震補強工事	H22.6.28	19,948	菊地・松岡経常建設共同企業体
森吉中学校耐震補強工事	H22.6.28	23,184	(有)米広組

阿仁中学校耐震補強工事	H22.6.28	33,883	秋田土建(株)
森吉中学校給水管更新工事	H22.7.12	18,795	秋田土建(株)
前田小外構改修工事	H22.8.6	5,250	秋田土建(株)
坊沢公民館改修工事	H22.7.9	24,286	(有)小笠原工務店
鷹巣陸上競技場改修工事	H22.8.25	49,350	クリヤマ(株)東京支社
教育委員会 9件		195,215	
消防救急デジタル無線整備基本設計策定委託業務	H22.7.2	8,925	(株)建設技術研究所 東北支社
消防本部 1件		8,925	
合計 40件		1,256,110	

市民生活部

<生活課関係>

「子どもと高齢者の交通事故防止」などを運動の重点として、夏の交通安全運動を8月1日から10日まで実施しました。

運動初日の8月1日には、北秋田警察署と交通安全協会、交通指導隊員など約100名が参加して、道の駅「たかのす」付近に交通指導所を開設し、通行車両の運転者に啓発品を手渡し、安全運転を呼びかけました。

街頭活動は、合川Aコープ前交差点や史跡御狩屋跡前交差点で行ったほか、8月6日及び9日には、酒類を提供している飲食店を訪問し、飲酒運転の根絶への協力を要請しております。

7月9日には、地域振興局、警察署、市役所合同共催により、不法投棄廃棄物回収作業を実施しました。当日は、住民ボランティアも含め約80名の参加で、不燃物280kg、廃家電77台、廃タイヤ50本を回収しております。

クリーンリサイクルセンターへの4月から7月における廃棄物搬入量は4,285トンで、前年度同期に比較して7トン、率にして0.16%の減となっております。

<総合窓口課関係>

平成22年7月末現在の住民登録者数は、37,394人（男17,606人、女19,788人）で、世帯数は14,592世帯となっております。

一般旅券（パスポート）の交付件数は、平成22年4月から7月末現在で124件となっております。

国民健康保険、後期高齢者医療、福祉医療については、次のとおりとなっております。

1. 前期高齢者受給者証の交付状況について (8月1日現在)

区 分	現役並所得者	一 般	低所得者（非課税）		計
			低	低	
交付者数	31	1,423	711	124	2,289

2. 後期高齢者医療

1) 被保険者証の交付状況について (8月1日現在)

交付者数	7,602	内障害認定者	253
------	-------	--------	-----

3. 福祉医療

1) 受給者証（通称：マル福）の交付状況について (8月1日現在)

法 別	年 齢	受 給 対 象 要 件	人 数
740	1歳～6歳	幼児で所得が基準内で、住民税非課税世帯の子	389
	0歳	乳児で所得が基準内世帯の子	
801	1歳～6歳	幼児で所得が基準内で、住民税課税世帯の子	665
802	0歳～6歳	乳幼児で所得が基準超過世帯の子	187
75	0歳～18歳	母子家庭の子	355
76	0歳～18歳	父子家庭の子	76
72	65歳～74歳	身体障害者手帳4～6級所持者	154
73	0歳～64歳	身体障害者手帳1～3級又は療育手帳A級所持者	631
77	75歳以上	身体障害者手帳4～6級所持者	462
78	65歳以上	身体障害者手帳1～3級又は療育手帳A級所持者	1,045
計			3,964

乳幼児については、法別で区分されているが受給者負担はない。（無料）

年齢で6歳とは就学前まで、18歳とは高校卒業まで。

健康福祉部

<福祉課関係>

7月16日、第60回社会を明るくする運動が市文化会館で行われ、市民集会では29団体約300人が参加し、法務大臣からのメッセージ朗読やビデオ上映等を通じて犯罪や非行防止について啓蒙を広めました。

8月24日に北秋田市戦没者追悼式が市文化会館で行われ、遺族や市の関係者など約240人が参列し、英霊に献花を行いながら今日の平和で豊かな郷土の発展の礎となった戦没者を偲び、恒久平和の誓いを新たにしました。

各保育園では、7月、8月に恒例の「夏まつり」行事を行い、保護者会の協力のもとに地域の皆さんの参加により、園児と地域との交流が図られました。

児童扶養手当等の現況届については、8月2日から12日まで対象者244名の現況面接審査を実施し、申請、更新の手続きを行いました。また、8月1日より父子家庭（父子世帯83世帯）の児童扶養手当制度が始まり、新規請求の受付を行っております。

障害者福祉については、障害者自立支援法の廃止の方向が示され、新たな制度ができるまでの間利用者負担の軽減を図るため、低所得(市町村民税非課税)の方には、障害福祉サービス及び補装具に係る利用者負担が4月から無料となっております。また、手帳の対象とならない中軽度の難聴児を対象とした難聴児補聴器購入費助成事業を実施しました。

<高齢福祉課関係>

老人福祉施設7施設（サテライトステーションつづれこ・養護老人ホームもろび苑・特別養護老人ホーム森泉荘・軽費老人ホーム大野台エコーハイツ・合川高齢者生活支援施設・北欧の里・ケアタウンたかのす）のスプリンクラー設置に向けた設計委託業務を7月中に発注しました。

地域包括支援センターで受けた相談業務の延べ件数は、6月末現在884件（来所83件、電話162件、訪問639件）となっております。

包括的支援事業である総合相談の内、権利擁護に関する相談実件数は43件（虐待13件・困難事例29件・成年後見人1件）となっております。

地域支援事業における特定高齢者把握事業については、該当者184名の方に介護予防事業への参加をすすめる為、訪問を行っております。また、介護予防教室や健康教育を14箇所で行っております。

<医療推進課関係>

北秋田市医療整備基本構想の見直しについては、6月2日の第1回北秋田市医療構想策定委員会（以下「構想策定委員会」という。）に引き続き、6月30日に第2回、8月4日に第3回、8月25日に第4回の構想策定委員会を開催いたしました。

第4回の構想策定委員会では、「北秋田市新医療整備基本構想」を取りまとめ、市長に答申しております。なお、答申された「北秋田市新医療整備基本構想」については市で精査し、新たな市の医療構想として位置付け、その概要について市議会議員及び市民の方々に周知しております。

<健康推進課関係>

成人検診事業については、森吉、阿仁、合川、鷹巣の4地区において個別医療機関方式、国保ドック方式を除き8月23日で終了しました。

集団検診の受診状況は、特定健康診査2,101人、一般健康診査1,128人（一般35人・後期高齢者1,093人）となっております。各種がん検診等は、胃がん検診2,022人、大腸がん検診3,301人、胸部総合検診3,703人、喀痰検査106人、前立腺がん検診1,233人、肝炎ウイルス検診15人、子宮頸部・卵巣がん検診780人、乳がん検診763人、骨そしょう症検診487人となっております。

また、特定健康診査の結果、動機づけ支援対象者は242人、積極的支援対象者は77人となっております。特定保健指導に入っております。

市民の健康づくり事業の一環であるウォーキングについては、2回目として阿仁地区の「マタギウォーク」が6月3日に開催され、161人（うち内陸線利用者120人）が参加。3回目の合川地区「あじさいウォーク」は7月22日に開催し、153人が参加しております。

母子保健事業については、乳児と中学生のふれあいを目的として思春期ふれあい体験事業を7月27日に実施し、合川中学校の3年生9人が参加しました。

食育推進事業については、体験学習型の食育探健隊（幼児対象のキッズコース・小学校1年生対象のジュニアコース）を7回予定し、これまで4回の実施で54人の参加がありました。今後とも関係機関と連携をとり、幼少期からのよりよい食習慣の定着を図ってまいります。

献血実施状況については、7月末現在で全血献血197人となっております。

<市立阿仁診療所関係>

阿仁診療所の外来患者については、4月から7月までは内科4,032人で、前年同期対比302人（6.9%）の減、外科3,817人で、前年同期対比182人（4.5%）の減、歯科1,450人で前年同期対比47人（3.3%）の増となっております。

診療収入は、内科、外科、歯科の3科で102,199千円となり、前年同期対比2,762千(2.6%)の減収となっております。

今後も現診療体制を維持継続のうえに、地域住民と患者の健康保持と健全な運営のための努力を続けてまいります。

また、施設維持管理としては、傷みが著しい箇所の屋根雨漏り防止及び内部改修の工事を発注しております。

<国民健康保険合川診療所関係>

4月から7月までの外来患者数は5,757人で、前年同期比1,109人(23.9%)の増、診療収入においても、前年同期比で7,076千円(24.8%)の増収となっております。

今後も公的医療機関の使命を果すとともに、地域医療を守り安定した経営の努力を重ねてまいります。

産 業 部

<農林課関係>

今年の水稲は、田植え期以降、温暖な気候で推移していたところ、7月に入ってから局地的な大雨の被害が発生し出穂の遅れが心配されましたが、前年より5日程早く出穂しており、今後は適期刈り取り等の指導を関係機関と一緒にやって行い、安全で安心な北秋田産米の収穫に向け取り組んで参ります。

きゅうり、トマトの青果物等については、生産者、耕作面積ともに減少傾向にあるものの、高温等の影響で高価格での取引が目立ち概ね昨年並みの販売額となっております。

2つの市営牧場の管理であります。春の入牧以来、大きな事故もなく順調に経過しております。また、ノロ川牧場の隔障物撤去作業も緊急雇用事業により予定通り7月末を以って終了しております。

今年度から第3期対策に取り組む中山間地域直接支払事業は、これまでより7集落協定少ない18集落協定で、今後中間見直しを含め10年間の事業が始まりました。

7月10・29～30日発生 of 豪雨災害につきましては、小阿仁川の氾濫及び阿仁川・米代川の増水により管内の77haあまりが冠水しましたが、冠水時間が短く被害が最小限に止まっております。

農地・農業施設災害は、揚水機損壊、農道、水路決壊の査定と一部修繕工事は終了しておりますが、残りの農業用排水路、農道決壊等全 20 箇所が国庫補助事業による査定を受け順次復旧事業を実施する予定であります。

森林の持つ意義や森林づくりの重要性・必要性、また林業に理解を深め森林の大切さを感じてもらうことを目的に、「第 3 回東北チェーンソーアート競技大会」が 6 月 26 日～27 日「北欧の杜公園」で県内外から 17 名の選手参加により大盛況に開催されました。

林道災害については、21 年度繰越の補助分 7 路線 6 箇所が完了し、残り 1 箇所については順調に進んでおります。松くい虫防除対策事業については、春駆除で 47 本（37.06 立方）伐採駆除しており今後も被害拡大を防止するため、被害木を早期発見し駆除いたします。

また、有害駆除であります。例年がない熊の出没により鷹巣地区 11 頭・森吉地区 4 頭・阿仁地区 8 頭・合川地区 5 頭・合計 28 頭を駆除し人的被害を未然に防いでおります。これから冬眠するまでの間、振興局・警察・猟友会との連絡を密にし、市民の安心・安全を図ってまいります。

種苗交換会については、6 月 1 日から 6 月 30 日までの期間で広報・ホームページ等でキャッチフレーズを募集したところ 292 点の応募があり、厳選なる選考の結果「北秋の大地に集え“農”の夢」に決定しました。

また、ポスターについても市内業者に依頼し 8 月末で完成しました。

第二協賛会場の苗畑跡地の造成については、北秋田市建設業協会に業務委託をし、現在造成中であります。

<商工観光課関係>

企業誘致関係については、阿仁萱草の秋田工業株式会社が第 2 工場の新築工事に伴う地鎮祭が 7 月 6 日に行われ、11 月末の完成に向けて工事中です。8 月末現在の進捗率は 15%です。

萱草工業団地給水施設改良工事も 11 月末の完成に向けて発注しています。

7 月 5 日には秋田県企業誘致推進協議会主催による、あきたリッチセミナーが名古屋で開催され、東海地区の企業に対して北秋田市のピーアールを実施しました。

また、7 月 29 日には秋田県・県内市町村と首都圏企業との懇談会が東京で開催され、北秋田市に進出いただいている企業のみならずと企業の状況や経済情勢などについて情報交換を行いました。

緊急雇用事業関係については、県の基金事業を活用し 7 月から企業誘致支援事業など 4 事業、25 名の雇用で失業者対策に取り組んでいます。

中心市街地の賑わい創出を目的に、鷹巣駅前通りを中心に「北秋田市軽トラ市・フリーマーケット」を 6 月 19 日、8 月 1 日の 2 回開催し、たくさんの方で賑わいました。

大館能代空港については、搭乗率アップに向けふるさと会のみなさまにパンフレット等による情報提供を行っている他、大館能代空港利用促進協議会による1,000円レンタカー事業が実施されております。

道の駅「大館能代空港」については、8月27日に登録証の伝達が行われ9月12日にオープンしました。空港施設が道の駅に登録されるのは全国で2番目で、東北では初めてです。

観光振興関係では、6月から花の百名山で知られている森吉山阿仁スキー場のゴンドラ運行が始まり、10月31日まで運行(8月16日～9月30日の平日は運休)されます。多くの方が高山植物や大自然の森吉山を鑑賞し賑わっております。

7月10日には第19回代川花火大会が開催され、25,000人の見物客が光と音のショーに酔いしれ、大きな経済波及効果と地域活性化に貢献しました。

7月25日第18回あじさいまつりが合川、翠雲公園で開催され、2,500人の見物客が見頃を迎えた色鮮やかなあじさいと、歌謡ショーやゲーム、流しそうめんなどのイベントを楽しみました。

8月7日には第24回森吉山麓たなばた火まつりが阿仁前田河川公園で開催され、15,000人の見物客が郷土芸能や絵灯籠行列、火文字や花火などの多彩なイベントを楽しみました。

8月14日第30回合川ふるさとまつり・第39回合川まと火が開催され、この日は朝から雨が降り続いて規模を縮小、ふるさとまつりは合川体育館に会場を移して行われました。3,000人の見物客がメインの通り踊りや、タント節(仮装)、スペシャルステージなど楽しみました。

8月16日には第48回阿仁の花火大会と灯籠流しが阿仁河川公園で開催され、多くの見物客が迫力満点の4,000発の打上花火や600個の灯籠の幽玄な美しさに堪能しておりました。

8月29日には第11回北秋田市市長杯森吉山ローラーズスキー大会が阿仁地区の市道荒瀬川線をコースに行われ、小学生から高校生まで74名がエントリーして残暑厳しい暑さの中、ゴールめざしてタイムを競いました。

建設部

<都市計画課関係>

市内経済の活性化等を目的に、7月1日から実施している住宅リフォーム緊急支援事業は、8月20日現在で 交付決定数 124件、交付決定額 17,979千円、対予算比84.6%となっております。

市営住宅 畑町団地建築工事については、9月上旬に請負契約を締結しました。本格的な降雪期前に工事を終え、遅滞なく老朽住宅(大町団地)から入居替えしていただく予定です。

<建設課関係>

地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業（繰越事業）については、計画7路線のうち道路維持工事（大野岱桂瀬外2路線）3件が完成しています。

地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業（繰越事業）については、計画20路線のうち測量設計業務委託（南鷹巣1号線外4路線）5件が完了し、排水維持工事（李岱芹沢線外9路線）10件を発注して、（小森摩当線外3路線）4件が完成しています。

道路新設改良事業については、道路改良工事（摩当～向黒沢線）2件、用地測量業務委託（大野台幹線）1件、橋梁長寿命化修繕計画策定業務委託（橋長15m以上140橋）1件をそれぞれ発注しています。

7月10日～11日の豪雨災害については、河川災害（大舟木川）1件及び道路災害（大印ノロ川線）2件の査定設計業務委託が完了しています。

また、7月29～30日の豪雨災害については、河川災害（田沢川外2河川）3件及び道路災害（七日市～松沢線外2路線）3件の査定設計業務委託を発注し、復旧工事に向けて準備を進めています。

<上下水道課関係>

上水道事業については、災害発生時における断水区域を最小限に止めることを目的とした鷹巣字西石ノ巻地内の緊急連絡管布設工事（L≒1,300m）と、鷹巣字下家下地区配水管布設工事（L=210m）の2件を発注しています。

簡易水道事業については、七座地区簡易水道さく井・導水管布設工事（L=8m）の1件を発注しています。

8月7日、8日の2日間、交流センターを会場に下水道の接続率向上を目指し、「下水道促進デー」を開催しました。今回初めて実施した「下水道促進デー」では、下水道の接続状況表や生活排水処理整備基本計画図を掲示し、下水道なんでも相談窓口を開設して排水設備工事に係る融資あっせん制度、住宅リフォーム緊急支援事業による補助制度などの案内と、下水道接続に向けた相談などに対応しました。また当日は、北秋田市管工事業協会の協力を得て関連企業10社が水洗トイレや設備機器の展示と説明を行い、下水道の仕組みや働きについて市民に情報提供し、下水道接続に関心をさらに深めていただきました。

公共下水道事業における工事の発注状況については、鷹巣処理区において、鷹巣字南中家下地内と脇神字平崎上岱地内の面整備工事の2件を発注しています。

農業集落排水事業における工事の発注状況については、道城地区において、処理施設機能調整工事、場内整備工事、雨水排水工事、舗装復旧工事の4件を発注しています。

浄化槽市町村整備推進事業（阿仁地区市町村設置型）における工事の発注状況については、5人槽1基、7人槽3基の計4基を発注しています。

消 防 本 部

<常備消防関係>

5月から7月末までの火災の発生は5件で、建物火災が1件、林野火災2件、車両火災が2件となっています。1月からの累計は12件で、死者は1人発生しています。

また、救急出場は388件で昨年同期比57件の増となっており、内訳は急病が270件で全体の69%、次いで一般負傷37件、交通事故36件その他となっています。1月からの累計では90件増の892件で、救急隊別では鷹巣636件、森吉263件、合川260件、阿仁164件、上小阿仁72件となっており、鷹巣救急隊の出場が71%となっています。

救助の出場は17件で、内訳は交通事故12件、水難事故2件、自然災害1件その他2件となっており、1月からの累計では39件の出動で7人を救出しております。

訓練の実施状況については、5月26日県民防災の日に各地区において地震想定防災訓練を実施しており、7月26日には市民病院での初めての大規模な防災訓練を実施し、病院と消防の連携の重要性を確認しました。

6月29日に行われた消防救助技術秋田県大会においてロープブリッジ渡過競技で、近藤消防士が1位となり、8月27日に京都市で行われる消防救助技術全国大会に秋田県代表として出場しております。

火災予防の普及活動として、5月29日から6月3日まで鷹巣地区の大型店を会場に、「鷹巣大火から60年」と銘打ち、昭和25年6月1日に発生した鷹巣大火当時の写真、新聞等を展示しながら火災予防の大切さを訴えております。

住宅用火災警報器の設置促進事業については、7月13日から16日の4日間、市内4地区で共同購入に至っていない自治会長への設置促進説明会を開催し、警報器設置について重ねてお願いしました。また8月いっぱい消防署員が戸別訪問して設置指導に当たる強調期間として取り組み、既存住宅の設置猶予期間である来年5月31日までに設置率の向上に努めております。

また、平成20年7月から開始している火災警報器共同購入の補助事業については、7月末日現在で全自治会等の60.4%に当たる133自治会等から4,157世帯分の交付申請があり補助金を交付しています。

〈非常備消防関係〉

北秋田市消防団消防訓練大会が7月11日、合川健康広場で開催され520人の消防団員と婦人消防隊員が日頃の訓練成果を競い合いました。また、同訓練大会に先立ち、北秋田市として統一した27の新分団旗の貸与式が行われ、一致団結した消防・防災活動に向け決意を新たにしました。

7月25日秋田県消防協会大館北秋田支部主催の消防訓練大会が大館市比内地区で行われ、規律訓練の部で阿仁第4分団が1位、森吉第7分団が2位となり、また小型ポンプ操法の部においては鷹巣第5分団が2位に入るなど、それぞれ日頃積み重ねた訓練の成果を十分に発揮しました。

7月29日からの大雨洪水警報発令時には、水防団員延べ102人が出動し、河川等の警戒に当たり被害の軽減に努めております。

教育委員会

<総務課関係>

阿仁中学校体育館改築工事については、7月29日に執行された入札会において落札業者が決定し、8月26日の市議会第3回臨時会において工事請負契約の締結について議決をいただき、完成期限を平成23年3月10日までとして改築工事を進めております。

今年度事業として予定されていた小中学校5校の耐震補強工事、米内沢小学校図書棟解体工事、森吉中学校給水管交換工事は、いずれも夏休み期間を中心とした工事でありましたが、期限内で完成の運びとなっております。

あきたりフレッシュ学園では2学期が8月30日から始業しております。また、県で予算化した学園パンフレットも7月に完成し、学校関係機関等に当該パンフが送付されたことなどから、施設見学や体験入園等の問い合わせも多くなっております。

<学校教育課関係>

市内の小・中学校は、部活動の地区大会や全県大会、各種コンクール等に積極的に参加し、好成績を収めるなど活躍が光りました。

6月、全県交通安全子ども自転車大会が秋田市で開催され、鷹巣南小学校が昨年に引き続き優勝を果たしました。個人の部でも梅原圭祐さん（6年）が優勝、堀部綾乃さん（6年）が2位、堀部竜誠さん（5年）が3位など6位までを同校で独占しました。8月には東京都で全国大会が行われ、過去最高の9位で、念願であった入賞を果たしました。個人の部でも梅原圭祐さんが学科・実技とも満点という、すばらしい成績で優秀賞を受賞しました。

7月には全県少年少女陸上競技大会が行われ、6年男子1,000mで鈴木快さん（合川西小6年）が2位、女子800mで三上優香さん（鷹巣小6年）が優勝しました。2人は、8月に山形県蔵王で行われた全国ジュニア駅伝大会の県選抜チームの選手にも選ばれ、活躍しました。また、第37回全県学童相撲大会では団体で鷹巣小が2位、合川北小が3位、個人では三沢紘汰さん（綴子小6年）が優勝、成田祐人さん（合川北小5年）が3位となり、ともに東北大会出場を果たしました。第59回全県中学校総合体育大会においては、陸上競技女子共通800mで桜庭沙耶香さん（鷹巣中2年）が、2・3年1,500mで成田利奈さん（鷹巣中2年）が優勝、1年男子1,500mで松尾淳之介さん（鷹巣中1年）、共通100m障害で長岐美優さん（鷹巣中3年）が2位と、鷹巣中学校の陸上部が大健闘でした。第52回全県児童生徒席書大会では硬筆の部で田中ななさん（鷹巣小2年）、半紙の部で高橋叶さん（鷹巣西小3年）、中嶋華子さん（米内沢小5年）が金賞など、総勢28人が入賞を果たしました。また、全日本吹奏楽コンクール県北地区大会では鷹巣中、鷹巣南中、森吉中、合川中が金賞、阿仁中が銀賞を受賞し、全県大会に出場しました。

8月4日には、学校における外国語活動を支援する外国語指導助手（ALT）として、新たにロバート・コリガン、マカアカンナジン・クリフォードの2人が来市しました。来日2年目となる他の3人のALTとともに、市内各小・中・高の児童生徒と一緒に英語の学習に取り組んでまいります。

8月26日から各学校において一斉に2学期がスタートしました。これまでに引き続き、事故のない安全な生活の中で、知・徳・体の一層の充実に向けて取り組んでおります。

市立合川高等学校としての最後の舞台となった高校総合体育大会等の主な結果について報告します。6月に競技が集中した全県総体では男子フェンシングが団体優勝を果たし、個人戦においてもフルーレ櫻井和巧さん（3年）、エペ佐藤秀貴さん（2年）、サーブル柴田永未さん（2年）の3人が準優勝となり、男子ソフトテニスでは個人戦で船水敬介さん（3年）・原田秋宏さん（2年）の1組が3位入賞となって、それぞれ7月に沖縄県を会場にして行われた全国大会（インターハイ）へ出場しました。同じく将棋同好会の佐藤瀬理菜さん（3年）、松橋絵利香さん（1年）も、8月に宮崎県で行われた全国高校総合文化祭の将棋大会に出場しております。

介護福祉士の資格取得を目指している介護福祉科3年生は、7月から8月にかけて青森県で行われた介護技術講習会に参加するなど、最後の卒業生となるまでの日々を励んでおります。

また、来年3月の閉校を前に、これまでの高校の歩みや思い出に触れてもらおうと、同窓生や旧職員らを対象とした「合川高校の校舎見学会」と「思い出を語る集い」が去る8月15日に開催されました。校舎内に展示された卒業写真など各種の資料を見入ったり、サンシャイン合川で行われた交流・懇親会では思い出話に花を咲かせるなど、合わせて200人ほどの関係者が参加しました。

<生涯学習課関係>

坊沢公民館については、築35年を経過し老朽化が著しく長年にわたり改築の要望が出されておりましたが、本年度国の補助事業をもって改修工事を行っております。現在、建物内部の改修工事が進められており、今後外壁、屋根塗装を行い、10月末の完成を目指しております。その間、地域の方々には代替えの施設をもって活動の対応をしております。

7月4日、第4回合川地区文化交流会及び第22回合川芸文祭が合川農村環境改善センターにおいて、約150人の来場者を迎えて開催されました。日本舞踊藤蔭流合川鳳扇会の舞踊や浜辺の歌音楽館少年少女合唱団など14団体から民謡・吹奏楽などが発表され、また、会場には陶芸や華道・俳句などの作品も展示されました。

平成22年度北秋田市成人式は、8月15日、北秋田市文化会館を会場に開催されました。本年度の対象者は385人で、そのうち303人が出席し、恩師をはじめ関係者から激励を受け、成人としての誓いを新たにしていました。

7月15日、國學院大學研究開発機構と北秋田市教育委員会との研究協力に関する協定の締結式が行われました。伊勢堂岱遺跡が世界遺産登録を目指すためには、遺跡自体の研究や関連する遺跡との比較検討、市民意識の向上が不可欠となることから、実績のある國學院大學との提携に至りました。今後は、関連遺跡の発掘調査や、都内での北秋田市の紹介も兼ねた出土品の特別展等を予定しております。

8月6日には、伊勢堂岱遺跡調査検討委員会が中央公民館で開かれ、平成23年度から環境整備を行いながら空港や内陸線の利用も含めて、平成27年度の世界遺産登録に向けての取り組みが説明されました。また、同日、第6回の北秋田市歴史文化基本構想等策定委員会が中央公民館で開かれました。この委員会は、市域における文化財類型の調査、それに基づいた「歴史文化基本構想」の策定、「歴史文化基本構想」に基づいた「保存活用計画」の策定を目的とし、今回の委員会には、8区域の保存区域の素案が示され、委員から活発な意見が出されました。

8月11日、市指定文化財「七日市の長岐邸」の13代当主の故長岐鷺朗さんの四女栗林悦子さんが市役所を訪れ、長岐家に伝わる掛け軸や古文書等1,528点が市に寄付されました。

「縄文シティサミット インふくしま」が8月21日～22日に福島市で開催され、ふるさと自慢としての縄文の魅力、そして観光、まちづくりをテーマに縄文都市連絡協議会に加盟する12都市の首長とともに津谷市長らが活用事例発表を行い、活用の方策を探り合いました。

浜辺の歌音楽館で8月24日、入館者数が15万人を達成し、記念セレモニーを行いました。横手市から家族旅行で訪れた方が15万人目となり、後藤惣一郎名誉館長より花束と記念品を贈呈しました。同館は昭和63年8月にオープンし、平成4年7月には5万人目、平成10年8月には10万人目の入館者をお迎えしております。

<スポーツ振興課関係>

7月に合川地区において開催したサマースポーツ教室の水泳教室に3回延べ72人・バドミントン教室に3回延べ12人、また、7月・8月に鷹巣地区において開催したスポーツ教室の8人制バレーボール教室に7回延べ152人が参加して、それぞれ楽しく汗を流しました。

7月27日・28日、森吉総合スポーツセンターで開催した森吉地区の第45回家庭婦人バレーボール大会・第11回8人制バレーボール大会には9チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

8月7日から9月26日まで市文化会館において、北秋田市出身の「バンクーバーオリンピック出場4選手を讃える展示会」を開催しており、市民はもとより市内外から多くの方にご来場いただいております。